



希望記事

・私の勤務先ではボランティア参加の呼びかけはあるものの、多くは参加するきっかけに乏しい、情報が少なく盛りがついていない状況にあります。さまざまなボランティアの種類や連絡先を紹介した記事、突発的な災害などが起きた場合のボランティア参加で気を付けるべきことなどが知りたいです。【50代・男性】

UsefulLifeでは、数多くのボランティア体験談を掲載しています。その中から自身にとって何か役立つ情報が見つかれば幸いです。

・筋肉量維持のための医・食・運動（介護不要の体づくり）。【60代・男性】

来年度の運動に関する新シリーズでは、高齢に備える身体づくりのためのトレーニングについて掲載予定です。どうぞお楽しみに。

・転職の動機や自己啓発について。【70代・男性】

転職や自己啓発については、来年度、キャリアのコーナーで取り上げます。

・私は常日頃、アルコール問題、つまり飲酒の問題を医療的また社会的な問題として考えることに関心があり、もし取り上げていただければ幸甚に存じます。アルコール問題は単にアルコール依存症やアルコール性肝硬変といった疾病上や健康上からの観点ばかりでなく、広く未成年者の飲酒問題や、飲酒運転による事故、労働や家族問題などを含めたアルコールに起因する包括的な問題をも含む総合的な問題として捉えるべきだと考えています。【60代・男性】

来年度は無理ですが、再来年度以降の掲載を検討してみます。

・親の介護についてや、介護保険の給付について読んでみたいと考えています。【40代・男性】

来年度、Economyの新シリーズでは、介護に関わるお金の話を連載します。乞うご期待！

・自分の死後の事を周りが困らないようどういう事に気をつけたらいいか、アドバイスがほしいです。【50代・女性】

弊誌136号のCoverage「突然の災害、事故、病気。こんな時どうする？」で掲載しました「もしもに備えて把握・保管しておきたいチェックリスト」が、何かご参考になれば幸いです。

その他ご意見

・内多さんをNHKで見かけなくなったと思ったら、転職をされていたと気づきました。親しみのある顔でお元氣そうでなにより。50歳を過ぎて転職というのは大きな決断だったと思います。いろいろ試算して奥さんに説明し、今度はハウスマネージャーのルーチンをこなして2年後の制度改正に向けた説明の準備に没頭していらっしゃる。順応性やチャレンジ精神に溢れパワフルな方だと思い、尊敬いたします。【30代・男性】

全く同感です。

・今号のEconomy 人生100年時代は「教育費負担VS老後生活費の確保」——老後破産を回避するために、どこまで教育費を負担するのか？は、二人の大学生を抱えるわが身にとって、身につまざる話でした。教育しか子どもに残すものはないと頑張ってきましたが、老後破産にならないように気をつけたいと思っております。【50代・男性】

問題点に早く気付ければ、打てる対策も多いはずですよ。

・気になる数字の特集は、少ないスペースにも関わらず読みやすく今後も続けてください。【40代・男性】

毎号ではありませんが、来年度も引き続き掲載します。お付き合いください。

・「高齢の家族を「要介護」にしないためのヒント」の山田先生の記事が強く印象に残りました。最近、先輩職員が定年前に両親の介護のため退職されました。介護の事情は家庭によって様々ですが、出来る事から工夫して、出来るだけ要介護にせず両親に元気で暮らしてもらいたいということも重要だと感じます。やがては私たち自身の問題となりますから。【50代・男性】

早いうちから普段の生活の中で少しずつ取り組んでいくことで、要介護を予防したり、遅らせることはできそうですよね。

・「風を起す」「この町の人が好きだから」の吉里さんは、大阪から1000km以上も離れた北海道東川町に移住し、自分の生きがいとやりがいを見つけ、町の人たちの風通しの良い人間関係が心地よく、物の多さ＝満足感ではないと思えるほど東川町が大好きになっており本当に素晴らしいです。「このような移住の記事をもっとお願いします。【50代・男性】

従来の価値観にとらわれない生き方を選ぶ人は増えていきそうです。

・とても読み応えのある記事ばかりでした。中高生の子どもを抱える我が家では、教育費や老後の生活に関して情報収集をしたいけれど、日々の生活の中でなかなか時間もありません。1冊の中に必要な情報があれこれ詰まっています。【50代・女性】

お忙しい日々の中で目を通していただき、ありがとうございます。

・十人十色で紹介された女子ラグビーは衝撃的でした。男のスポーツと違ってラグビーに女子？スポーツに限らず、様々な分野で活躍している女性やハンディキャップを背負いながら頑張っている人たちを、積極的に取り上げて紹介して欲しいです。【60代・女性】

今後さまざまな方々にご登場していただくよう努めてまいります。

・長い人生を悔いなく、楽しく過ごすのは、他人から学び取り、模倣でない自分のホンを改めて知り、行動に移すしかないですね。価値観は人それぞれ、幸せや喜びの尺度も千差万別です。貴誌の内容が、これからも多種多様な現代に生きる人たちの生き様を、教えて頂ければありがたいです。【60代・男性】

すごい人だけでなく、「普通の人」も取り上げていきます。

・公民館でふと手にした貴誌に思わず見とれてしまいました。介護、病気、仕事、経済等々生きていく上でとても大切な情報が満載で人生の指針としての栄養の塊のような貴誌に関われたらと思ひ応募いたしました。【60代・男性】

「栄養の塊」という身に余るお言葉をありがとうございます。

通信員からの評価が高かった記事

当誌では、通信員の方に毎号、各記事について「とても良かった」「良かった」「ふつう」「あまり良くなかった」「良くなかった」の5段階評価をいただいています。ここでは「ALPS」139号の中で「とても良かった」「良かった」の評価が多かった記事の上位をご紹介します。

- 1位…Economy 人は得より損、に敏感 友野典男
- 1位…Family 高齢の家族を「要介護」にしないためのヒント 山田実
- 3位…Interview 内多 勝康さん 私がアナウンサーから福祉の現場に転職した理由